２０２５（令和７）年度事業報告

定款第４条(事業)に基づき、2025（令和 7）年度の事業を次のとおり行った。

１．施設等の設計、製作、施工、維持及び管理に関する調査、研究及び試験事業

（１）専門部会活動（基準検討部会、技術検討部会、制御検討部会、ゴム堰・SR 堰部会、維持管理部会）

（２）保管技術資料の整理

２．施設等の機能保持のための各種の技術的な基準の作成及び普及事業

（１）協会発行技術基準・各種要領の作成、保守、課題検討

（２）技術基準等への問合せ対応と理解・普及の促進

（３）協会出版図書の引用転載

３．施設等に関する調査、資料の収集及び編纂事業

（１）ダムゲート設備等の調査

４．施設等に関する研修会、講習会、講演会及び懇談会の開催事業

（１）現場研修会の開催

（２）第 58 回ダム技術講演討論会の開催（共催）

（３）研修講師の派遣（国土交通省（国交大、東北地整、北陸地整)、自治体（静岡県））

５．施設等に関する機関誌等出版物の発行事業

（１）機関誌「取水と制水」No.70 号の発行

（２）協会ホームページの更新・運営

（３）協会発行図書の販売・策定

（2025 年度の本会出版図書の販売：464 冊）

６．施設等の技術開発、研究及び試験等に関する受託事業

（１）受託業務：国土交通省より 1 件を受託

（２）受託研究： SIP 第Ⅲ期のサブ課題 D に研究協力機関として参画（無償）

７．政府機関、地方公共団体及び学術団体等への施設等に関する事項についての協

力及び意見具申事業

（１）公的機関の各種委員会等への委員等としての参画

（２）水環境保全に係る各種行事(所管：国土交通省他)への協賛等

（３）国土交通省関係部署等との意見交換会の開催

（国土交通本省、北海道開発局、東北地方整備局、関東地方整備局、北陸地方整備局、中部地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局、(独法)水資源機構）

８．その他事業

（１）社員総会の開催

（２）理事会の開催

（３）運営委員会、広報委員会、企画委員会、技術委員会・5 専門部会の開催

（４）賀詞交歓会の実施

（５）継続学習制度への学習プログラム申請と受講証明書（CPDS）の発給

（６）説明会等開催案内の情報提供

以上

2025（令和 7）年度事業報告の附属明細書

【１．施設等の設計、製作、施工、維持及び管理に関する調査、研究及び試験事業】

１．専門部会活動

ダム・堰等施設の信頼性、耐久性、安全性の確保・向上を図る観点から、以下の調査研究を技術委員会専門部会が主体となり実施。

１）設計基準改定に関する検討・調査（新規）:〔基準検討部会〕

ダム・堰施設技術基準（案）が前回改定後 10 年程度経過するため、技術基準および解説編・マニュアル編において改定すべき事項の検討を開始。

２）設備の品質・信頼性向上のための調査検討（継続）:〔技術検討部会〕

技術基準や設計要領等への反映およびゲート設備の品質・信頼性向上への貢献に資することを目的にゲート設備故障事例等の調査・分析を行うとともに、故障率算定のためダム・堰・水門および樋門設備納入実績の調査・分析を継続実施。

３）ダムゲートに関する新技術の調査（継続）:〔技術検討部会〕

技術基準にないリーン二相系ステンレス鋼に関する技術情報の調査およびデータ整理、機械設備に関する「BIM/CIM 基準・要領」の策定に対する要望申し入れのため 3D 解析や 3D 計測・新規 ICT 計測技術および AI 活用についての技術調査、新技術テーマの探索、調査方法、報告方法についての検討、などを実施。

４）ゴム堰のゴム袋体寿命調査と補修塗装の効果検証（継続）:〔ゴム堰・SR 堰部会〕

ゴム堰のゴム袋体について強度保持率などの経年変化を調査し，寿命推定および強度保持率曲線の見直し（ゴム袋体製造メーカの変遷による）のためのデータ収集を継続。また、延命措置（補修塗装）について施工済みの既設ゴム堰と新規施工分の調査を実施し，補修塗装の効果（オゾン・日射熱・紫外線等から外層ゴム表面を保護し，ひび割れ等の老化症状を抑制する）の検証を継続。

５）動画配信を活用したゲート設備維持管理技術の継承（継続）:〔維持管理部会〕

ゲート設備を直接操作・維持管理する技術者育成の一助とすべく「点検要領を解説する動画配信」を検討。試作を重ねている電動油圧押上式制動機の点検要領動画をもとに、問題点を整理して今後の方向性や対応を検討。

２．保管技術資料の整理（継続）:〔基準検討部会〕

協会に長年蓄積されている技術資料について、将来の保管の便宜並びに関係者の有効活用に資するため、資料の電子データ化を 2010 年度から継続実施し、過去の基準作成・改訂時の各分科会、基準検討部会における検討資料の整理・データ化は完了。今後新たな検討資料が出てきた際には追加。

【２．施設等の機能保持のための各種の技術的な基準の作成及び普及事業】

１．協会発行技術基準・各種要領の作成、保守、課題検討

・協会発行の技術基準および各種要領に関する外部からの質問・問合せへのフォローアップを行うことで、現状との適合性を調査・検討。過去の質問・回答で対応した資料のデータ化を実施し、協会員に配信（継続）:〔基準検討部会〕

・設計基準改定に伴う設計要領等の見直しとして、「水門・樋門ゲート設計要領(案)」(H13.12)の見直しを実施（継続）:〔基準検討部会〕

・平成 12 年度発行の「ゲート用開閉装置（機械式・油圧式）設計要領（案)」の記載内容が陳腐化していることから、記載されている電気機器の仕様や解説の見直しを行い、協会内部での活用資料として「操作制御設備設計マニュアル（案)」を作成・配布（完了）:〔制御検討部会〕

２．技術基準等への問合せ対応と理解・普及の促進

協会出版図書はもとよりダム・堰等施設に関する外部からの技術事項の問合せに対し、基準検討部会の協力を得て回答し、出版図書ならびにダム・堰等施設への理解・普及を促進。質問内容に応じて各々公開の要否を検討し、正誤表で対応する内容についてはその都度協会 HP に公表（継続）:〔事務局〕

３．協会出版図書の引用転載

協会出版図書の引用転載の申出については、その都度違法性が無ければ承諾書にて回答。(継続）:〔事務局〕

【３．施設等に関する調査、資料の収集及び編纂事業】

１．ダムゲート設備等の調査

・ゲート総覧第Ⅶ巻用設備調査（継続）:〔技術検討部会〕

・ゲート設備故障事例等調査（継続）:〔技術検討部会〕

・ゴム堰・SR 堰実績調査（継続）:〔ゴム堰・SR 堰部会〕

【４．施設等に関する研修会、講習会、講演会及び懇談会の開催事業】

１．2025 年度現場研修会

１）開 催 日：2025 年 11 月　6 日（木）～ 7 日（金）

２）場　　所：いずれも長野県内

・高遠ダム（クレストゲート更新工事現場）〔長野県企業局〕

・美和ダムおよび小渋ダム〔国土交通省 中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所〕

３）参 加 者：28 名（内訳：協会会員企業 26 名　協会事務局 2 名）

２．第 58 回ダム技術講演討論会

(一社)日本大ダム会議と共催にて「第 58 回ダム技術講演討論会」を開催。

・開催日：2025 年 11 月 12 日（水）
・場　所：月島社会教育会館（東京都中央区月島 4-1-1）
・開催方法：会場受講および WEB 受講の併用
・受講者等：179 名（内訳：会場 75 名、WEB 73 名、講師・事務局 31 名）
・協会会員活動報告として 1 テーマ 2 題の講演発表
　①　演　題：社口ダム洪水吐ゲート脚柱部ほか修繕工事における取組み
　　講　師：平田　靖喜 氏（西田鉄工（株））
　②　演　題：豊沢ダム洪水吐および放流施設ゲート取替工事報告
　　講　師：香川　友成 氏（豊国工業（株））
・継続学習制度受講証明書（4.9 ユニット）の発給および受講料徴収等は(一社)日本大ダム会議にて実施。

３．国土交通省等職員研修への講師派遣

1）国土交通省国土交通大学校

① 令和 7 年度 建設機械施工・機械設備〔基本コース〕研修
　開 催 日：2025 年 11 月 7 日（金）
　講義名①：水門設備の設計〔概論〕〔設計演習〕
　講　師①：協会技術委員　野々下　和裕 氏（㈱IHI インフラシステム）
　講義名②：水門設備の施工・維持管理
　講　師②：協会技術委員　髙橋　直樹 氏（㈱IHI インフラシステム）
　※ 会場として㈱IHI インフラシステムの防災・水門技術研修所で実施。

② 令和 7 年度 建設機械施工・機械設備〔専門コース〕研修
　開 催 日：2025 年 12 月 4 日（木）
　講義名①：機械設備の BIM/CIM 活用の留意点（※河川ポンプ技術施設協会と共同講義）
　講　師①：協会技術委員　大澤　信哉 氏（㈱IHI インフラシステム）
　講義名②：受発注者間のパートナーシップ（水門設備）
　講　師②：協会職員

2）国土交通省東北地方整備局

① 令和 7 年度 機械技術（機械設備）（初級）研修
　開 催 日：2025 年 11 月 28 日（金）
　講 義 名：水門設備の計画と維持管理
　講　　師：協会技術委員　髙橋　直樹 氏（㈱IHI インフラシステム）

3）国土交通省北陸地方整備局

① 令和 7 年度 機械技術（施工企画）研修
　← *2024 年 9 月の能登半島豪雨災害対応のため中止された研修を実施されたもの*
　開 催 日：2025 年 7 月 15 日（火）

講義名①：ゲート設備の基礎知識及び維持管理
講　師①：協会技術委員　俣野　敦夫 氏（㈱IHI インフラ建設）
講義名②：現場見学（西川排水機場～新潟大堰～信濃川水門）
講　師②：協会技術委員　清水　裕輔 氏（㈱IHI インフラ建設）
協会技術委員　上原　修一 氏（㈱IHI インフラ建設）
開 催 日：2025 年 7 月 16 日（水）
講義名③：設備見学（大川ダム）
講　師③：協会技術委員　清水　裕輔 氏（㈱IHI インフラ建設）
協会技術委員　上原　修一 氏（㈱IHI インフラ建設）

4）静岡県

① 令和 7 年度 電気及び機械設備工事の設計・施工管理研修
開 催 日：2025 年 9 月 19 日（金）
講 義 名：水門設備工事のチェックポイント（設計ミスへの対応、点検業務の留意点）
講　　師：協会技術委員　野々下　和裕 氏（㈱IHI インフラ建設）

【５．施設等に関する機関誌等出版物の発行事業】

１．機関誌「取水と制水」第 70 号（2026 年 3 月発刊）

構成は、巻頭言、特集ダム（新桂沢ダムおよび平瀬ダム）、技術資料 4 件、ならびに協会ニュース（2025 年現場研修会報告、協会活動状況、等）からなっている。

1）巻 頭 言：国土交通省水管理・国土保全局　林局長

2）特集ダム：①国土交通省北海道開発局　新桂沢ダム
（同軸嵩上げによるダム再生／ダム本体工事／常用洪水吐き設備／取水放流設備／水道専用取水設備）
②山口県　平瀬ダム
（建設事業の概要／ダム建設工事／常用洪水吐き（コンジット・オリフィスゲート）／取水放流設備／管理用制御設備工事）

（特集ダム選定経緯）

事務局で候補ダムを選定し、7 月 10 日開催第 60 回広報委員会にて審議を行い、7 月 22 日開催第 69 回運営委員会にて了承された。国土交通省水管理・国土保全局治水課および山口県土木建築部河川課に申し入れを行い、施設管理機関の承諾等を得た。その後、施設管理機関および水門設備会社ならびに工事施工会社等に執筆依頼を行った。

3）技術資料：・水門・排水機場の緊急時操作遠隔化・自動化技術の開発
・社口ダム洪水吐ゲート脚柱部ほか修繕工事における取組み
・豊沢ダム洪水吐および放流施設取替工事報告
・二相ステンレス鋼 SUS329J4L を採用した扉体の現場溶接について

4）協会ニュース：・2025 年度現場研修会報告
・協会活動状況　ほか

５）配　布：広く技術情報を提供するため、2026 年 3 月中旬に関係省庁（出先機関を含む）、地方公共団体、独立行政法人、学術機関、会員および関係先に約 1,000 冊を無料で配布。また、国会図書館にも納本（ISSN 0911-8241）し、不特定多数者に技術情報等を提供。

２．協会ホームページの作成・運営

協会出版図書正誤表、協会パンフレット、講習会開催案内等を随時更新掲載。
会員向けに随時「協会ニュース」を発信。

３．協会発行図書の販売

2025 年度（4 月～翌年 3 月）の本会出版図書の販売；　464 冊

【６．施設等の技術開発、研究及び試験等に関する受託事業】

１．受託業務

2025 年度は国土交通省より 1 件を受託。他社とのジョイント V。

①　国土交通省水管理国土保全局より 1 件を、河川財団・河川ポンプ施設技術協会・ダム堰施設技術協会・パスコ・日本工営共同提案体で受託

２．受託研究

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第Ⅲ期（2023 年度より 5 箇年計画）に研究協力機関として参画（無償）

〔研究開発課題〕

サブ課題 D：流域内の貯留機能を最大限活用した被害軽減の実現

研究開発テーマ（D-3）：水門・排水機場の緊急時操作遠隔化・自動化技術の開発

【７．政府機関、地方公共団体及び学術団体等への施設等に関する事項についての協力及び意見具申事業】

１．公的機関の各種委員会等への委員等としての参画

１）水資源分野における我が国事業者の海外展開活性化に向けた協議会および作業部会

・主　催：国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源計画課
・委　員：協会職員

２）BIM/CIM 導入推進委員会

・主　催：国土交通省 大臣官房　参事官（イノベーション）グループ
・オブザーバ機関：協会職員

３）CAD 製図基準の改定に向けた PT

・主　催：国土交通省 大臣官房　参事官（イノベーション）グループ
・委　員：協会技術委員（技術委員会メンバー会社 4 社より実務に詳しい者を各 1 名）

４）３次元モデルと２次元図面の整合確認 PT

・主　催：国土交通省 大臣官房　参事官（イノベーション）グループ

・委　員：協会技術委員（技術検討部会委員および技術委員会メンバー会社２社より実務に詳しい者各１名）

５）現地事務所設置の技術検討委員会①

・主　催：独立行政法人水資源機構

・委　員：協会技術委員

６）現地事務所設置の技術検討委員会②

・主　催：国土交通省東北地方整備局最上川ダム統合管理事務所

・委　員：協会職員

７）ダムの効用増大および流域環境向上のためのダム再開発事例分科会

・主　催：一般社団法人日本大ダム会議

・委　員：協会職員

２．水環境保全に係る各種行事への協賛等

１）水の週間　　主催：水の週間実行委員会　後援：国土交通省他

２）森と湖に親しむ旬間　主催：国土交通省他　　後援：日本河川協会他多数法人

３）川の日　　主催：川の日実行委員会

３．国土交通省関係部署等との意見交換会

企画委員会において活動方針を固め、事務局と連携を図りスケジュール調整を行い、下記のとおり実施した。

・2025 年　5 月 26 日（月）　(独法)水資源機構　……2024 年度分

協会出席者　：　対面 27 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 12 名

・2025 年 11 月 17 日（月）　中部地方整備局

協会出席者　：　対面 28 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 7 名

・2025 年 11 月 21 日（金）　東北地方整備局

協会出席者　：　対面 24 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 8 名

・2025 年 12 月 10 日（水）　北陸地方整備局

協会出席者　：　対面 20 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 6 名

・2025 年 12 月 17 日（水）　中国地方整備局

協会出席者　：　対面 22 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 3 名

・2025 年 12 月 23 日（火）　北海道開発局

協会出席者　：　対面 22 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 3 名

・2026 年　1 月 20 日（火）　関東地方整備局

協会出席者　：　対面 25 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 3 名

・2026 年　1 月 26 日（月）　九州地方整備局

協会出席者　：　対面 29 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 4 名

・2026 年　2 月　9 日（月）　四国地方整備局

協会出席者　：　対面 20 名（企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 7 名

・2026 年　2 月 27 日（金）　国土交通省……信太参事官（大臣官房）、

山本企画専官（水局治水課）、三浦課長補佐（水局河川環境課）ほか

協会出席者　：　対面 33 名（専務理事、運営委員長、技術委員長、企画委員、ゲートメーカ、協会職員）、WEB 2 名

【８．その他事業】

１．社員総会

１）第 39 回定時社員総会

・開催日：　2025 年 5 月 27 日（火）

・場　所：　霞山会館

・議　案：　①　2024 年度事業報告について（報告事項）

②　2024 年度決算報告について（承認事項）

③　監査報告

④　2025 年度事業計画について（報告事項）

⑤　2025 年度収支予算について（報告事項）

⑥　任期満了に伴う役員の選任について（決議事項）

⑦　定款の一部改訂について（決議事項）

⑧　その他

審議の結果、全ての議題について承認および了承された。

２．理事会

１）第 74 回理事会

・開催日：　2025 年 5 月 9 日（金）

・場　所：　霞山会館

・議　題：　①　2024 年度の事業報告及び決算報告について（各委員会活動報告を含む）

②　2025 年度の事業計画及び収支予算について

③　会長及び専務理事の職務執行の状況報告について

④　任期満了に伴う役員の選任について

⑤　その他

審議の結果、全ての議題について承認および了承された。

２）第 75 回理事会

・開催日：　2026 年 5 月 27 日（火）

・場　所：　霞山会館

・議　題：　①　会長及び副会長並びに専務理事の選任について

②　その他

審議の結果、会長及び副会長並びに専務理事が選任された。

3）第 76 回理事会

・開催日：　2026 年 1 月 7 日（水）

・場　所：　霞山会館

・議　題：　①　次期第 40 回定時社員総会等の開催について

②　会長及び専務理事の職務執行の状況報告について

③　2025 年度上期事業報告について

④　その他

審議の結果、全ての議題について承認および了承された。

3．委員会等開催状況（運営委員会、広報委員会、企画委員会、技術委員会・5 専門部会）

1）運営委員会　　3 回（4 月、7 月、12 月）

2）広報委員会　　3 回（4 月、7 月、12 月）

3）企画委員会　　4 回（4 月、6 月、7 月、11 月）

4）技術委員会　　1 回（4 月）　ほかメール会議 1 回

5）基準検討部会　　3 回（4 月、7 月、11 月）

6）技術検討部会　　2 回（6 月、3 月）

7）制御検討部会　　4 回（4 月、7 月、11 月、1 月）

8）ゴム堰・SR 堰部会　3 回（5 月、10 月、1 月）

9）維持管理部会　　1 回（5 月）

4．賀詞交歓会

・開催日：　2026 年 1 月 7 日（水）

・場　所：　霞山会館

5．継続学習制度受講証明書（CPDS）発給

発給対象：技術委員会／専門部会、現場研修会、ダム技術講演討論会、取水と制水（執筆）、意見交換会、等

発 給 数：45 件（162 ユニット）を発給

6．説明会等開催案内の情報提供

国土交通省等からの通知、情報提供、制度説明会の案内、等

・ 6 月　令和 7 年度当初予算に係る工事の発注見通しについて　……　東北地方整備局施工企画課

・ 7 月　水循環企業登録・認証制度の創設について（周知依頼）　……　内閣官房水循環政策本部事務局

・ 7 月　【ご案内とお願い】8/1「水を考えるつどい」につきまして　……　水の週間実行委員会事務局

・ 7 月　《情報提供》 TEC-FORCE 予備隊員の募集のご案内　……　東北地方整備局

・ 7 月　【ご案内とお願い】8/4（月）「水のワークショップ・展示会」につきまして　……

水の週間実行委員会

・ 8 月　【資料提供】網走開建発注工事における技術資料作成時における留意事項について　……　北海道開発局網走開発建設部

・10 月　（情報提供）令和 7 年度（10 月 1 日以降）の発注見通しについて　……　東北地方整備局施工企画課

・10 月　［ご案内］土研講演会の開催［10 月 17 日（金）@東京］　……　土木研究所

・10 月　技術功績賞に関する情報提供依頼　……　ダム工学会賞事務局幹事

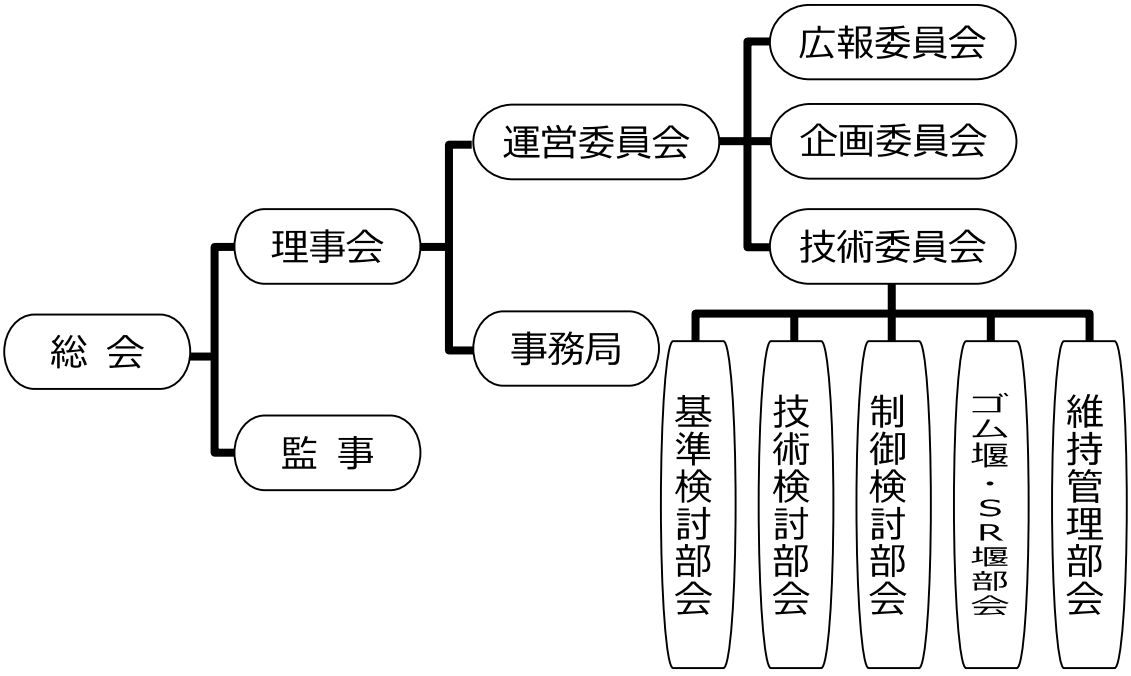
・12 月　「水循環企業連携フェア」開催のご案内　……　内閣官房水循環政策本部事務局

・12 月　【情報提供】河川管理施設等の老朽化対策について　……　国土交通省施工企画室・河川保全企画室

・12 月　（情報提供）令和 7 年度補正予算の発注見通しについて　……　東北地方整備局施工企画課

・12 月　（情報提供）工事費内訳書における労務費等の記載の取り扱いについて　……　中部地方整備局施工企画課

・ 1 月　【周知依頼】直轄工事における工事費内訳書への労務費等の記載について　……　北海道開発局事業振興部機械課

以　上

（参考）　協会組織図